

「農業農村整備」

いつの時代も農業の発展とともにあるのは「農業農村整備」です。

安全・安心でおいしいと評価の高い
北海道の農畜産物。
その北海道農業を支え続けているのは
「農業農村整備」です。

広大な農村風景を車窓で眺めながら、整然と並んだ田んぼの麗しさ、滔々と流れる用水路の美しさ、四季折々で姿を変える畑の美しさに目を奪われたことはありませんか。

北海道は、食料自給率が200%（カロリーベース）を超え、日本の食料供給地と呼ばれています。それは、厳しい気候に耐えられる品種の改良や栽培技術を確立してきたと同時に、「用水路整備」、「田畑の排水改良」、「区画整理」といった「農業農村整備」によって、農作物を育てるための土台造りをしっかりとやってきた結果です。

「農業農村整備」は、北海道農業を支えるとともに北海道の豊かな農村風景を作り上げています。



畑地帯の様子



現在の北海幹線用水路の様子

安定した農作物の生産のために

「用水路整備」により農地に安定した用水を供給することで、干ばつや冷害を防止し、農作物の収穫量を上げ、品質の良い農作物を作ることが可能となります。

空知地方にある日本最長の農業用水路「北海幹線用水路」は、大正13年に建設が始まりました。この地域は泥炭などが分布し地盤が弱く、難工事となりましたが、昭和4年に無事完成し、約1万6千ヘクタールのかんがい用水が安定確保され、石狩川中部域の原野が北海道有数の穀倉地帯へと発展しました。

高品質な農作物のために

「田畑の排水改良」とは、農地の地下に穴の開いたパイプ（暗渠排水管）を埋め、下流の川などに雨水や余分な水を排出するための排水路を掘ることで、水はけを良くする工事です。これにより、雨が降っても乾きが早くなるため、比較的早く農地に農作

業機械が入れるようになり、効率的な農作業が可能となります。さらに、農作物の生育環境が改善され、農作物の収穫量の

増加や品質の向上が図られるようになり、今まで作れなかった新しい農作物を栽培できるようになります。

農作物の生産コスト低減のために

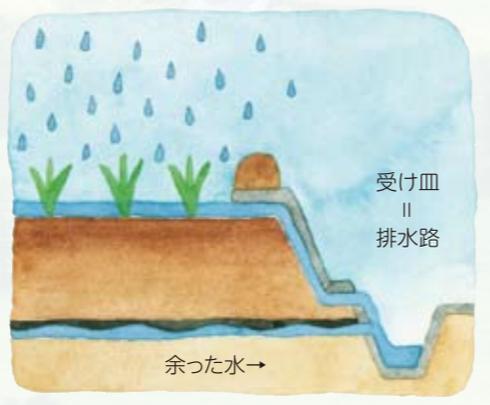
「区画整理」では、小さな田畑を成形して大きくすることも、散らばって所有している田畑を一カ所に集めることで、農作業の省力化が可能になり、生産コストの大幅な低減を図って農作物を安く提供できるようになっています。また、農業経営の規模拡大や安定化が図られることで、意欲ある担い手に将来にわたって地域農業を支えてもらうことも期待できるようになります。

そすいざい
疎水材
あんきょはいすいかん
土中の水分を暗渠排水管に速やかに流すための材料

もみがら 木材チップ 砂利 ホタテ貝殻

あんきょはいすいかん
暗渠排水管
そすいざい
疎水材によって集められた土中の余剰水分を速やかに流出させる役割を持つ管

ごうせいじゆしかん 合成樹脂管
すや どかん 素焼き土管



田んぼのまめ知識

Q お茶碗1杯分のお米を作るのに必要な水は、何リットル?

A 稲作には大量の水が不可欠で、お茶碗1杯分のお米を作るのに200~300ℓの水が必要といわれています。これは家庭用お風呂の1~1.5杯分に相当する量です。

水 200~300ℓ
お茶碗 1杯分

農業の営みは、食料の生産だけでなく、国民全体の生活にも様々なめぐみをもたらしています。水田は雨水を一時的に貯留して洪水や土砂崩れを防ぎ、多様な生きものを育み、美しい農村の風景は、私たちの心を和ませてくれます。こうしためぐみをもたらす豊かで美しい「農村空間」をさらに発展させ次世代に引き継ぐために、「農業農村整備」の役割はますます大きなものとなっています。



「ホッカイドウ競馬」は年中楽しめます!

「ホッカイドウ競馬」では、11月9日(木)までの火・水・木曜日に日高・門別競馬場でグランシャリオナイターを開催しています。道営の開催終了後も、引き続き、道営出身馬が多く活躍する平日の地方競馬や土日のJRAの勝馬投票券を以下の場外発売所「Aiba(アイバ)」で発売します。ぜひ、ご利用ください。



ホッカイドウ競馬 マスコットキャラクター「ホトくん」「ナナせちゃん」

発売場所

門別競馬場、Aiba函館港町、Aiba登別室蘭、Aiba苫小牧、Aiba静内、Aiba浦河、Aiba千歳、Aiba札幌中央、Aiba石狩、Aiba小樽、Aiba江別、ハロンス若見沢、Aiba滝川、旭川レーシングセンター、Aibaくしろ、Aiba中標津

出走馬の詳細やレース展望などについては、「ホッカイドウ競馬オフィシャルウェブサイト」から『がんばれ!ホッカイドウ競馬』にリンクしてご覧ください。
http://www.hokkaidokeiba.net/

お問い合わせ 農政部競馬事業室(TEL:011-204-5377)
最寄りの総合振興局・振興局農務課
または(一社)北海道軽種馬振興公社(TEL:01456-2-2501)

地域を守る「中山間地域等直接支払制度」の取組

農村地域は、食料供給のほかにも、洪水や土砂崩れを防ぎ、美しい風景や生き物のすみかを守るといった重要な役割を果たしていますが、農用地に傾斜があるなど農業生産条件が不利な地域では、担い手の減少や耕作放棄地の増加などにより農業の多面的機能の低下が懸念されています。

「中山間地域等直接支払制度」は、地域の農業者が農用地等を維持・管理していくための取り決めを締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に交付金を交付する仕組みです。道内でも98市町村において、この制度を活用した農業生産活動の継続や地域の活性化に向けた様々な取組が行われています。



お問い合わせ 最寄りの総合振興局・振興局農務課または
農政部農村設計課 (TEL:011-204-5399)
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/contents/dp.htm

「北海道で農業を仕事にするための相談会」を開催します!

北海道農業担い手育成センターでは、農業を仕事にするための様々な情報が得られるイベント「北海道新規就農フェア」を開催します。農業を仕事することに興味のある学生・社会人・求職中の方・単身者・ご家族連れなど、どなたでもご参加いただけます。(予約不要・入場無料・服装自由)北海道農業に興味関心のある方、お気軽にご参加ください!



東京	札幌	大阪
9月9日(土)	11月11日(土)	1月27日(土)
パナソニック本社ビル	札幌コンベンションセンター	大阪マーチャンダイズ・マート

イベントの詳細については、「北海道で農業をはじめのサイト」をご覧ください。
http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/

お問い合わせ 農政部農業経営課担い手育成グループ
(TEL:011-204-5385)
または北海道農業担い手育成センター(TEL:0570-044-055)

北海道発祥の「木育」に参加してみませんか

木育とは、森林や木材にふれ親しむことを通じて、人と森林との関わりを主体的に考えることができる豊かな心を育むことであり、子どもをはじめとするすべての人が、森や木の働きなどについての理解を深め、豊かな感性と思いやりの心を育む人づくりと、人と森林や木材が深い絆で結ばれる「木の文化」が息づく社会を目指しています。道では、この木育を道民運動として定着させていくため、木育マイスター、企業やNPOなどの民間、国や市町村、教育関係機関など多様な機関と連携して、木製遊具で遊ぶイベントや木工、植樹や育樹、森林環境教育などに取り組んでいます。是非、皆さんのご参加をお待ちしています。



お問い合わせ 水産林務部森林活用課木育グループ
(TEL:011-204-5515)
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/index.htm

次号の「コンファ春号」
を無料で
お届けします。

次号(2018年春号)は2月頃に発行する予定です。送付を希望される方は、右の綴じ込みハガキに必要事項を記入し、ご感想などを添えて投函してください。メールや電話、ハガキ、FAXでも受け付けていますので、「コンファ2018春号希望」と明記の上、①郵便番号②住所③氏名④電話番号を記載し、下の宛先までお申し込みください。
〒060-8588 北海道農政部農政課政策調整グループ(住所の記入不要)
TEL(011)231-4111(内線27-126) FAX(011)232-4126 Eメール:nosei.noki2@pref.hokkaido.lg.jp

編集後記

近年、道産米を食べる道民の割合が8割を超える一方、道外からの需要も旺盛で北海道米ブランドが着実に浸透しつつあります。また、北の大地は、お米だけでなく、野菜、卵、牛肉といった私たちに欠かせない新鮮な食材を与えてくれています。今号は、その恩恵を身近に感じる「Made in Hokkaido」を特集しました。ありふれたコピーですが、中身は「もっと、もっと」おいしく進化していますので、愛食レストランや直売所で豊穰の秋をご堪能ください。

実習を通じて寒冷地農業を学び
地元特産品の商品化に産学官で連携



生産者が喜ぶ商品を作りたい。

「二年に一度、100%網走産のビールで大切な人と乾杯してほしい」。生物産業学部伊藤博武教授をはじめ、学生、生産者、協力企業の強い思いが実り、2010年12月、同大学網走寒冷地農場で栽培された大麦とホップを使ったビール「祝IWA」がデビュー。構想から15年がかりのプロジェクトでした。

大麦に続きホップ栽培もスタート。

あまり知られていませんが、網走はビールの原料となる二条大麦の一大産地。冷涼な気候や、大麦が大規模畑作の輪作体系に向いている作物であることもあり、昭和初期からずっと栽培され続けてきたのです。一方、ホップは2008年11月からサッポロビールの技術支援を受けて栽培研究がスタート。翌年には包括連携協定が結ばれ、農場職員が防風ネットの工夫をするなど熱心に取り組み、年々栽培量が増加していきました。

代々受け継がれる「実学主義」。

サッポロビールには「フィールドマン」という原料づくりの専門家がいますが、この活動を学生に体験してもらうことで栽培に関する厳しい目を養うことができました。また、「祝IWA」のビール仕込み作業にも参加した学生は、生産現場加工から消費者の手に届くまでを実感し感動を覚えたそうです。現在もそのDNAは受け継がれ、価値ある農産物や加工品を作って社会貢献することを目的に、学生たちは広い農場で大麦とホップに向き合っています。

confa

ポストカードとして切手を貼ってご使用ください。

秋号の写真は平成28年度 とかち農業・農村フォトコンテスト入選作品です。

きりとり線



次号(2018年春号)は2月頃に発行する予定です。送付を希望される方は、下の綴り込みハガキに必要事項を記入し、ご感想などを添えて投函してください。

レシピカードとして切り離して保存できます。

郵便はがき

060-8788

531

きりとり線



差出有効期間
平成30年
1月31日まで
(切手不要)

札幌市中央区北3条西6丁目

北海道農政部農政課 行



■ご住所 〒 □□□-□□□□

■お名前(フリガナ)

■お電話

() .

■性別

■年齢

■職業

男 ・ 女

歳

素材が主役!
シンプルレシピ
とうきびプリン



坂下美樹

料理監修
料理研究家・管理栄養士

北海道の素材と旬を大切に、家庭で手軽に楽しめるレシピを道内各地でお伝えしています。

confa
レシピカード

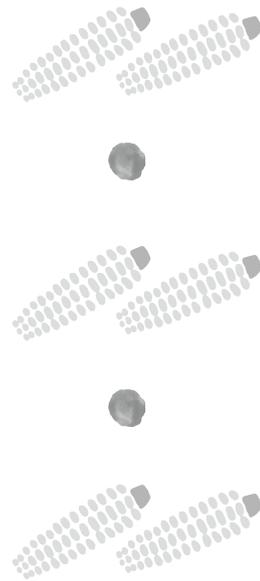


きりとり線

confa

PHOTO/平成28年度 とちぎ農業・農村フォトコンテスト入選作品

きりとり線



素材が主役!
シンプルレシピ
とうきびプリン



confa
レシピカード

材料(4個分)

- とうきび……………1本
- 牛乳……………100cc
- A 生クリーム…大さじ2
- グラニュー糖……25g
- 粉ゼラチン……………3g
- 水……………大さじ2
- ミント……………少々



作り方

- ①とうきびは包丁で実をそぎ取り、耐熱容器に入れてラップをし、電子レンジ(600W)で3分ほど加熱する。トッピング用に少し取りおき、残りはAを加えてミキサーで攪拌する。
- ②分量の水に粉ゼラチンを振り入れてふやかし、電子レンジ(600W)で10秒ほど加熱して溶かす。
- ③①に②を加えて氷水をあてて混ぜながらとろみをつけ、容器に流して冷やし固める。
- ④トッピング用のとうきび、ミントを飾る。

きりとり線

●次号の『confa』2018年春号は、平成30年2月頃の発行予定です。
郵送を希望しますか? 希望する 希望しない

次号の郵送を希望される方は、必ずこのハガキをお送りください。

アンケート

- 1 本誌をどこでご覧になりましたか?
市町村の施設窓口 銀行・信金 病院・保健所
空港・高速道路PA 直接郵送された 道の駅
その他[]
- 2 本誌の記事で、良かったと思うのはどれですか?(複数回答可)
特集1 JAびえい(美瑛町) コンファ農業教室
特集2 ノーザンノーサン(石狩市) CAMPUS MADE
農チャレンジ農ライフ 北海道からのお知らせ
農と食をつなぐ人 農家レストラン&お土産スポット
ふれあいファームへようこそ
- 3 本誌を読んでのご意見、ご感想、農業関係者へのメッセージなどお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見の中から次号(春号)で、市町村名・年齢・性別を添え、数点紹介させていただく予定です。

きりとり線